



2月の校長講話

2月3日 節分…心の鬼退治 「泣いた赤おに」「おにたのぼうし」より
(インフルエンザにより実施できなかった内容)



節分は、季節を分ける立春の前日です。昔から、鬼の目に豆を投げることで、邪気を払うことができると信じられています。



いくつかの昔話の中には、鬼が登場。ももたろうは鬼ヶ島の鬼を退治し、一寸法師は都で暴れる鬼を退治しました。



「泣いた赤おに」では、友だちのために悪者になった青鬼が赤鬼の前から姿を消します。「いつまでも キミの ともだち 青鬼」



「おにたのぼうし」では、女の子にごちそうを届けたおにたが、その女の子に「豆まきがしたいなぁ」と言われ、姿を消します。



昔、ひとつの美しい島に鬼たちが住んでいました。そこへ一人の人間の子が、イヌ・サル・キジを引き連れてやってきました。



本当の鬼は、自分自身の中にある「いやな心」「弱い心」なのかもしれません。心の鬼退治をするのが、節分です。

信州型コミュニティスクールの取り組みについて

昨年度から本格的な取り組みがスタートし、今年度は信州型コミュニティスクール運営委員会が設置されました。これにより、学校支援を通じた学校運営への参加を一層進め、学校と地域・家庭の連携を持続的なものとし、学校・家庭・地域住民等が相互の信頼関係を深めることとなりました。来年度もお世話になります。よろしくお願いします。

今年度の取り組みについて、一部紹介します。



読み語りボランティア

今年度も、大勢の方がボランティアとして登録しました。



灯籠づくり支援

夏休みの「竜ヶ池灯籠流しのタペ」を彩る灯籠づくり。



米づくり支援

5年西組の一大プロジェクト「米づくり」に協力いただきました。



書写 授業支援

3年生以上の習字・書き初め指導のため、お世話になっています。



家庭科 授業支援

今年度より家庭科の授業やクラブでも支援していただきました。



図工 授業支援

昨年度に引き続き、絵画や版画のご指導をしていただきました。



あいさつ運動

ライオンズクラブのみなさんによる「あいさつ運動」



七夕・笹送りの会

今年度も普願寺様より笹を提供していただきました。



屋部町神楽保存会

3年生の社会・音楽・郷土学習として位置付けています。



PTA 資源回収で、さらに次のような本を追加で購入することができました。

「ぎょうじ えほん」 春、夏、秋、冬

「歴史ヒストリア」 全5巻

また、2月の参観日の折に、新聞紙等の資源をお持ちよりいただき、ありがとうございました。